

第 18 回党大会の経済的意義

田中 修

はじめに

11 月 8—14 日、第 18 回共産党大会が開催され、胡錦濤総書記は最後の政治活動報告を行った。本稿では、報告のうち経済関連部分を中心に解説したい。

I . 報告概要（経済関連部分）

1. 過去 5 年間の政策と 10 年間の基本総括

1.1 政策の問題点

これまでの成果を強調したうえで、「我々の政策にも多くの不足が存在し、道を進むうえでなお少なからぬ困難・問題がある」とし、次の点を挙げている。

- ①発展において、アンバランス・不協調・持続不可能の問題が依然際立っており、科学技術イノベーション能力が強くない。産業構造は不合理であり、農業の基礎は依然脆弱で、資源・環境の制約が激化している。科学的発展を制約する体制メカニズムの障害はかなり多く、改革開放の深化と経済発展方式の転換という任務は非常に困難である。
- ②都市・農村地域の発展格差と、個人所得分配の格差が依然大きい。
- ③社会の矛盾が顕著に増加しており、教育、就業、社会保障、医療、住宅、生態環境、食品・薬品の安全、安全生産、社会の治安、法執行・司法等の大衆の切実な利益に関わる問題がかなり多く、一部の大衆の生活が比較的困難になっている。
- ④一部の分野では、モラルの規範が失われ、信義誠実を欠いている。
- ⑤一部幹部の指導の科学的発展能力が強くなく、一部末端党組織が軟弱でまともに欠けており、少数の黨員幹部の理想・信念が動揺し、党の趣旨に関する意識が希薄になっており、形式主義・官僚主義の問題が際立っており、奢侈・浪費現象が深刻である。
- ⑥一部分野で消極・腐敗現象が発生しやすく、多発しており、反腐敗闘争の情勢は依然峻厳である。

これらの困難・問題を我々は高度に重視し、更に真剣に解決しなければならない。

1.2 科学的発展観の意義

10 年の奮闘の歴史の中で最も重要なことは「実践の基礎の上に理論の刷新推進に挑み、中国の特色ある社会主義の堅持・発展をめぐり、相互に密接につながり相互に相通じている新思想・新観点・新論断を提起し、科学的発展観を形成・貫徹した¹ことである」とする。

そして科学的発展観とは、

- ①マルクス主義が現代中国の現実及び時代の特徴と結びついた産物であり、発展に関する

¹ ゴチックは筆者。

マルクス主義の世界観・方法論の集中的な体现である。

新情勢下でどのような発展を実現するか、どのように発展するかという重大な問題に新たな科学的回答を行ったものであり、中国の特色ある社会主義のルール認識について我々を新たな水準に引き上げるものであり、現代中国のマルクス主義発展の新たな境界を切り開くものである。

②中国の特色ある社会主義理論体系の最新の成果であり、中国共産党の集団の知恵の結晶であり、党・国家全体の活動を指導する強大な思想武器である。

③マルクス・レーニン主義、毛沢東思想、鄧小平理論、「3つの代表」重要思想とともに、**党が長期に堅持しなければならない指導思想**である。
とされた。

1.3 科学的発展観の貫徹

「科学的発展観をわが国現代化建設の全プロセスに貫徹し、党の建設の各方面に体现させなければならない」とし、次の4点を強調する。

①全党は更に自覚的に、**経済社会の発展を推進**することを、科学的発展観を貫徹する**第一義**とし、**経済建設**という中心をしっかりとらえて、全ての力を集中して建設に取り組み、一意専心発展を求めなければならない。

②全党は更に自覚的に、**人間本位**を科学的発展観を貫徹する**中核的立場**とし、最も広範な人民の根本的利益を党・国家の一切の活動の出発点・立脚点としなければならない。

③全党は更に自覚的に、**全面性・協調性・持続可能性**を科学的発展観を貫徹する**基本要求**とし、**経済建設・政治建設・文化建設・社会建設・生態文明建設の「五位一体」**の全般的な布石を全面実施しなければならない。

④全党は更に自覚的に、**統一的に企画し各方面を併せ考慮**することを、科学的発展観を貫徹する**根本的方法**とし、すべて現実から出発し、中国の特色ある社会主義事業における重大関係を正確に認識し、適切に処理しなければならない。

また、「思想の解放、实事求是、時代と共に歩み、真実を求め實際を重んずることは、科学的発展観の最も鮮明な真髄である」とも述べている。

2. 中国の特色ある社会主義の新たな勝利を勝ち取る

2.1 歴代の各指導部の業績

(1) 毛沢東同志を核心とする第1代中央指導集団

現代中国の全ての発展のために、根本的な政治前提・制度的基礎を打ち固めた。**深刻な曲折²を経験したが**、新たな歴史の時期に、中国の特色ある社会主義のために、**貴重な経験、理論的準備、物質的基礎を提供した**。

(2) 鄧小平同志を核心とする第2代中央指導集団

² 大躍進・文化大革命の混乱を指すものと思われる。

党・国家の活動の中心を経済建設に移し、改革開放という歴史的な政策決定を実行した。中国の特色ある社会主義を**成功裏に創り出した**。

(3) 江沢民同志を核心とする第3代中央指導集団

内外情勢が十分複雑で、世界の社会主義に深刻な曲折が出現するという峻厳な試練を前にして、中国の特色ある社会主義を守り抜いた。中国の特色ある社会主義を**成功裏に21世紀に押し進めた**³。

(4) 新世紀の段階における党中央⁴

重要な戦略的チャンスの時期をしっかりと握み、小康社会を全面的に推進するプロセスにおいて実践の刷新・理論の刷新・制度の刷新を推進し、人間本位で、全面的に協調した持続可能性のある発展を強調し、社会主義の調和のとれた社会の構築・生態文明建設を提起して、中国の特色ある社会主義の全般的な布石を形成した。民生の保障・改善に力を入れ、社会の公平・正義を促進し、調和のとれた世界の建設を推進し、党の執政能力建設・先進性建設を推進し、新たな歴史的起点において、中国の特色ある社会主義を**成功裏に堅持・発展させた**。

改革開放30年余り、一貫して模索を続けるなかで、我々は中国の特色ある社会主義という偉大な旗印を断固として高く掲げ、閉鎖的で硬直した旧い道を歩むことも⁵、別の旗印に変えるような邪道を歩むこともなかった。

2.2 中国の特色ある社会主義の含意

①中国の特色ある社会主義の道

中国共産党の指導の下、基本的な国情に立脚し、経済建設を中心とし、4つの基本原則を堅持し、改革開放を堅持し、社会の生産力を解放・発展させる。社会主義市場経済、社会主義民主政治、社会主義先進文化、社会主義の調和のとれた社会、社会主義生態文明を建設する。人間の全面的発展を促進し、**全人民の共同富裕を段階的に実現**し、富強・民主的・文明的で調和のとれた社会主義現代化国家を建設する。

②中国の特色ある社会主義の理論体系

鄧小平理論、「3つの代表」重要思想、科学的発展観を含む科学的理論体系であり、マルクス・レーニン主義、毛沢東思想の堅持・発展⁶である。

③中国の特色ある社会主義の制度

人民代表大会という根本の政治制度、中国共産党が指導し多党が協力する政治協商制度、民族地域の自治制度及び末端大衆の自治制度等の基本的な政治制度、中国の特色ある社会主義の法律体系、公有制を主体とし多様な所有制経済が共同で発展する基本的な経済制度、

3 「3つの代表」への言及はない。

4 胡錦濤の名は頭出しされていない。

5 左派・保守派や薄熙来元重慶市書記の毛沢東回帰路線を指すものと思われる。

6 「発展」という表現は、実質的に中身を変更する場合によく用いられる。

並びにこれらの制度の基礎の上に確立された経済体制・政治体制・文化体制・社会体制等の各種の具体的制度である。

中国の特色ある社会主義の「道」とは**実現ルート**であり、「理論体系」とは**行動指針**であり、「制度」とは**根本的な保障**である。3者は、中国の特色ある社会主義の偉大な実践により統一される。

中国の特色ある社会主義の建設に際しては、①全体として依拠するものは社会主義初級段階であり、②全体としての布石は、経済建設・政治建設・文化建設・社会建設・生態文明建設の「**五位一体**」であり、③全体としての任務は社会主義現代化と中華民族の偉大な復興である。

中国の特色ある社会主義は、中国のように人口が多く基盤が脆弱な東方の大国が、どのような社会主義を建設し、どのように社会主義を建設するかという根本的な問いに対し、理論・実践を結びつけ系統的に回答したものである。実践が十分証明しているが、**中国の特色ある社会主義は現代中国の発展・進歩の根本的な方向であり、中国の特色ある社会主義によってこそ中国は発展できる**のである。

中国の特色ある社会主義の発展は、長期にわたる非常に困難な歴史的任務であり、多くの新たな歴史的特徴を備えた偉大な闘争を進める準備をしなければならない。我々はいささかも動揺することなく中国の特色ある社会主義を堅持し、時とともに発展させ、中国の特色ある社会主義の実践の特色・理論の特色・民族の特色・時代の特色を不断に豊富にしなければならない。

2.3 新たな歴史条件下、中国の特色ある社会主義が新たな勝利を勝ち取るための基本要 求

(1) 人民の主体的地位を堅持しなければならない

中国の特色ある社会主義は、**億万人民自身の事業**である。

人民の權益を更に好く保障し、人民が主人公となることを更に好く保証しなければならない。

(2) 社会の生産力を解放し発展させることを堅持しなければならない

社会の生産力の解放・発展は、中国の特色ある社会主義の**根本任務**である。

経済建設を中心とし、科学的発展を主題として、経済建設・政治建設・文化建設・社会建設・生態文明建設を全面的に推進し、人間本位の、全面的・協動的で持続可能な発展を実現しなければならない。

(3) 改革開放の推進を堅持しなければならない

改革開放は、中国の特色ある社会主義を堅持・発展させるために、**必ず通るべき道**である。

社会主義市場経済の改革方向を堅持し、対外開放という基本国策を堅持しなければならない。

(4) **社会の公平・正義の擁護**を堅持しなければならない

公平・正義は、中国の特色ある社会主義の**内在的要求**である。

権利の公平・機会の公平・ルールの公平を主要な内容とする社会の公平の保障システムを段階的に確立しなければならない。

(5) **共同富裕の道を歩む**ことを堅持しなければならない

共同富裕は、中国の特色ある社会主義の**根本原則**である。

国民所得の分配構造を調整し、再分配の調整を強化し、所得分配格差がかなり大きい問題の解決に力を入れることにより、発展の成果を**更に多く更に公平に**全人民に施し、共同富裕の方向に着実に前進しなければならない。

(6) **社会の調和促進**を堅持しなければならない

社会の調和は、中国の特色ある社会主義の**本質的属性**である。

民生の保障・改善を更に際立たせて位置づけ、人民が安心して生業に励み、社会が安定して秩序立ち、国家が長期にわたって安寧を保つことを確保しなければならない。

(7) **平和的發展**を堅持しなければならない

平和的發展は、中国の特色ある社会主義の**必然的選択**である。

恒久の平和・共に繁栄する調和のとれた世界の建設を推進しなければならない。

(8) **党の指導**を堅持しなければならない

中国共産党は、中国の特色ある社会主義事業の**指導の核心**である。

「立党は公のため、執政は民のため」を堅持し、党の科学的執政、民主的執政、法に基づく執政の水準を高めなければならない。

我々は、次の点をはっきりと認識しなければならない。

①わが国はなお長期にわたり社会主義初級段階にあるという基本国情は、変わってはいない。

②人民の日増しに増大する物質・文化の需要と立遅れた社会生産の間の矛盾という、この社会の主要な矛盾は変わってはいない。

③わが国は世界最大の発展途上国であるという国際地位は、変わってはいない。

いかなる状況下でも、社会主義初級段階という最大の国情をしっかりと把握し、**いかなる方面の改革・発展を推進するにも社会主義初級段階という最大の現実**にしっかりと立脚しなければならない。必要以上に卑屈になったり、やたらに驕りたかぶったりすることなく、中国の特色ある社会主義の新たな勝利をしっかりと勝ち取らなければならない。

我々は理想を胸に抱き、信念を確固とし、動揺せず、怠けず、無茶をせず、頑強に奮闘し、刻苦奮闘し、たゆまず奮闘しさえすれば、中国共産党創立 100 周年に必ず小康社会を全面的に実現でき、新中国成立 100 周年に必ず富強・民主的・文明的で調和のとれた社会主義現代化国家を実現できる。

3. 小康社会の全面的実現⁷と改革開放の全面的深化の目標

3.1 5つの要求

内外情勢を総じて見れば、わが国はなお大きく発展できる重要な戦略的チャンスの時期にある。我々は重要な戦略的チャンスの時期の内容と条件の変化を正確に判断し、全面的にチャンスを掴み、試練に沈着に対応し、主動権を勝ち取り、優位性を勝ち取り、2020年に小康社会を全面的に実現するマクロ目標の達成を確保しなければならない。

わが国の経済社会の発展の現実に基づき、16回党大会・17回党大会で確立した小康社会を全面的に建設するという目標の基礎の上で、**新たな要求**の実現に努力しなければならない。

(1) 経済を持続的・健全に発展させる

経済発展方式の転換で重大な進展を獲得し、バランス性・協調性・持続可能性が明白に強化された基礎の上に、**GDPと都市・農村住民の1人平均所得を2010年比で倍増する**。

科学技術の経済成長への寄与率を大幅に引き上げ、イノベーション型国家の列に参入する。工業化を基本的に実現し、情報化水準を大幅に引き上げ、都市化の質を明白に高め、農業現代化・社会主義新農村建設で顕著な成果を得、地域の協調発展メカニズムを基本的に形成する。

対外開放水準を更に高め、国際競争力を顕著に強化する。

(2) 人民民主を不断に拡大する

法に基づき国を治める基本方略を全面的に実施し、法治政府を基本的に実現する。司法の公信力を不断に高め、人権が確実に尊重・保障されるようにする。

(3) 文化のソフトパワーを顕著に強める

社会主義の核心価値体系を人々の心に根付かせ、公民の文明的素質と社会の文明の程度を顕著に高める。文化製品を更に豊富にし、公共文化サービスシステムを基本的に実現し、文化産業を国民経済の支柱的産業とする。

中華文化を海外に発信する歩みを大きく踏み出し、社会主義文化強国建設の基礎を更に堅実なものとする。

(4) 人民の生活水準を全面的に高める

基本公共サービスの均等化を総体として実現する。全国民が受ける教育の程度とイノベーション人材の育成水準を顕著に高め、人材強国・人的資源強国の列に参入し、**教育の現代化**を実現する。

雇用を更に十分にし、所得分配格差を縮小し、中等所得層を引き続き拡大し、貧困扶助対象者を大幅に減少させる。社会保障で全国民をカバーし、誰もが基本医療・衛生サービスを楽しむようにし、**住宅保障**のシステムを基本的に形成し、**社会の調和と安定化**をはかる。

⁷ これまでは「建設」となっていたが、本報告では「建成」となっており、「実現」と訳すことにした。

(5) 資源節約型・環境にやさしい社会の建設で重大な進展を獲得する

主体的機能区の配置を基本的に形成し、資源のリサイクル体系を初歩的に確立する。GDP 単位当りのエネルギー消費と CO2 排出量を大幅に引き下げ、主要汚染物質の排出総量を顕著に減少させる。森林のカバー率を高め、生態システムを安定的に強化し、居住環境を明白に改善する。

3.2 改革の深化

小康社会を全面的に実現するには、更に大きな政治的勇気と知恵が必要であり、時機を失さず重要分野の改革を深化させ、科学的発展を妨害する全ての思想観念と体制メカニズムの弊害を断固として除去しなければならない。システムが完備し、科学的に規範化され、運営が有効な制度体系を構築することにより、各方面の制度を更に成熟させ、更に定型化しなければならない。

(1) 社会主義市場経済体制の整備を加速しなければならない

公有制を主体とし、各種所有制経済が共に発展する基本経済制度を整備する。労働に応じた分配を主体とし、多様な分配方式が並存する分配制度を整備する。

マクロ・コントロール体系を整備し、資源配分における市場の基礎的作用を更に大きく更に広範囲に発揮させる。

開放型経済システムを整備し、経済の更に効率的で、更に公平で、更に持続可能な発展を推進する。

(2) 社会主義民主政治の制度化・規範化・秩序化を加速しなければならない

各層・各分野で公民の秩序立った政治参加を拡大し、国家の各種政策の法治化を実現する。

(3) 文化管理体制と文化生産経営メカニズムの整備を加速しなければならない

現代的な文化市場システムを基本的に確立し、健全な国有文化資産の管理体制を整備し、イノベーション・創造的な文化の発展に資する環境を形成する。

(4) 科学的で有効な社会管理体制の形成を加速しなければならない

社会保障体系を整備し、健全な末端公共サービスと社会管理のネットワークを整備する。社会が活力にあふれ、調和のとれ秩序立った状況を確保する体制メカニズムを確立する。

(5) 生態文明制度の確立を加速しなければならない

国土空間の開発・資源の節約・生態環境の保護の健全な体制メカニズムを整備し、人と自然の調和のとれた発展を促す現代化建設の新たな構造の形成を推進する。

期限どおり小康社会を全面的に実現する任務は非常に困難であるが、全党同志は刻苦精励の姿勢で粘り強く闘わなければならない。国家は農村・中西部地域への支援を強化し、これらの地域の改革開放を加速し、発展能力を強化し、人民の生活を改善しなければならない。条件の整った地方が現代化建設において引き続き前列に歩み出て、全国の改革・発展に大きな貢献を行うことを奨励する。

4. 社会主義市場経済体制の整備を加速し、経済発展方式の転換を加速する

経済建設を中心とすることは、興国の要であり、発展はなおわが国の全ての問題を解決するカギである。「発展は絶対の道理」という戦略思想を堅持し、決してわずかたりとも動揺させてはならない。

現代中国においては、「発展は絶対の道理」を堅持する本質的要求は、科学的発展の堅持である。科学的発展は主題とし、経済発展方式の転換を主線とすることは、わが国の発展の全局にわたる戦略的選択である。

内外の経済情勢の新たな変化に適応し、新たな経済発展方式の形成を加速し、**発展推進の立脚点を質・効率の向上に転じなければならない**。各種の市場主体の発展の新活力を奮い立たせることに力を入れ、イノベーション駆動による発展の新動力増強に力を入れ、現代産業を発展させる新体系の構築に力を入れ、開放型経済の発展の新たな優位性の育成に力を入れることにより、経済発展が内需とりわけ**消費需要**の牽引に更に多く依存するようにし、**現代サービス業・戦略的新興産業**の牽引に更に多く依存するようにし、**科学技術の進歩・労働者の素質の向上・管理のイノベーション**による駆動に更に多く依存するようにし、**資源節約・循環型経済**の推進に更に多く依存するようにし、**都市・農村地域の発展の協調・相互作用**に更に多く依存するようにして、長期にわたる発展の後続力を不断に増強しなければならない。

中国の特色ある新タイプの工業化・情報化・都市化・農業現代化の道を歩むことを堅持し、**情報化・工業化の深い融合、工業化・都市化の良性的相互作用**を推進し、**工業化・情報化・都市化・農業現代化の同歩調による発展**を促進する。

(1) 経済体制改革を全面的に深化させる

改革の深化は経済発展方式転換加速のカギである。

経済体制改革の核心問題は、政府と市場の関係をうまく処理することである。市場ルールを更に尊重し、政府の役割を更に好く発揮しなければならない。

いささかも動揺することなく、公有制経済を強固に発展させ、公有制の多様な実現形式を推進する。国有企業改革を深化させる。各種国有資産管理体制を整備し、国有資本が更に多く国家の安全と国民経済の命脈に関わる重要業種・カギとなる分野に向かうよう推進する。国有経済の活力・コントロール力・影響力を不断に増強する。

いささかも動揺することなく、非公有制経済の発展を奨励・支援・誘導し、各種所有制経済が法に基づき生産要素を平等に使用し、市場競争に平等に参加することを保証する。

健全な現代市場システムを整備し、マクロ・コントロールの目標・政策手段のメカニズム化建設を強化する。

財政・税制改革を加速し、中央・地方の財政力と権限が釣り合った健全な体制を整備し、基本公共サービスの均等化と主体的機能区の建設を促進する公共財政システムを整備する。地方税システムを構築し、構造が最適化され、社会の公平に資する税制を形成する。

公共資源の譲渡収益を合理的に共に享受するメカニズムを確立する。

金融体制改革を深化させる。金利と為替レート市場化改革を着実に推進し、人民元の資本項目の兌換を段階的に実現する。

(2) イノベーション駆動による発展戦略を実施する

科学技術イノベーションは社会の生産力・総国力を高める戦略的支えである。

国家イノベーション体系の建設を加速し、企業を主体とし、市場を導きとし、産・学・研究機関が結合した技術イノベーション体系の構築に力を入れる。

(3) 経済構造の戦略的調整を推進する

これは、経済発展方式転換加速の主たる攻め口である。

需要構造の改善、産業構造の最適化、地域の協調発展の促進、都市化の推進を重点とする。

消費需要拡大の長期有効なメカニズムを早急に確立する。投資の合理的伸びを維持する。

戦略的新興産業、先進製造業の健全な発展を推進し、現代サービス業を大掛かりに発展させる。小型・零細企業とりわけ科学技術型の小型・零細企業の発展を支援する。

西部大開発を優先的に推進する。メガロポリスの規模・配置を科学的に計画し、中小都市と町の産業発展・公共サービス・雇用吸収・人口集積機能を強化する。戸籍制度の改革を加速する。

(4) 都市・農村の発展の一体化を推進する

農業・農村・農民問題をうまく解決することは、全党活動の重点中の重点であり、都市・農村の発展の一体化は、「三農」問題を解決する根本的方途である。

国家のインフラ建設・社会事業の発展は農村に重点を置く。

農民の増収促進に力を入れ、農民の収入が持続的に比較的速く増えることを維持する。

集約化・専門化・組織化・社会化が結びついた新タイプの農業経営システムを構築する。

土地収用制度を改革し、農民に対する土地のキャピタルゲインの分配比率を高める。

都市・農村の計画・インフラ・公共サービス等の方面において、一体化推進に努め、都市・農村の生産要素の平等な交換と公共資源のバランスのとれた配分を促進する。

(5) 開放型経済の水準を全面的に引き上げる

対外経済の発展方式の転換を加速する。

国際経済協力・競争を牽引する開放地域を形成し、地域発展を牽引する開放基地を育成する。輸出・輸入を共に重んじることを堅持する。技術・ブランド・品質・サービスを中核とする輸出競争の新たな優位性を形成する。

外資利用の総合的な優位性・総体的な効率を高め、資本・技術・頭脳導入を有機的に結びつける。

海外進出の歩みを加速し、世界水準の多国籍会社を育成する。

FTA 戦略の実施を加速する。

5. 民生の改善と管理の刷新のなかで社会建設を強化する

社会建設の強化は、**社会の調和・安定の重要な保障**である。

社会建設の強化のためには、**民生の保障・改善を重点**としなければならない。**就学・雇用・医療・養老・住宅**の面で引き続き新たな進展を得て、人民が更に好い生活を送るよう努力しなければならない。

社会建設の強化のためには、**社会体制改革の推進を加速**しなければならない。党委員会が指導し、政府が責任を負い、社会が協同し、大衆が参加し、法治により保障された社会管理体制形成を加速し、**政府が主動し、都市・農村をカバーする、持続可能な基本公共サービス体系の形成**を加速しなければならない。

(1) 人民が満足する教育をしっかりと行うよう努める

学生のイノベーション精神を育成する。

教育の公平促進に力を入れ、教育資源を合理的に配分し、重点を農村・縁辺・貧困・民族地域に振り向け、特殊教育を支援し、家庭の経済が困難な学生の資金援助水準を引き上げ、出稼ぎ農民の子女が平等に教育を受けることを積極的に推進する。

(2) 更に質の高い雇用の実現を推進する

大学等卒業生を重点とした青年就業政策と野損の労働力移転、都市の就業困難者、退役軍人の就業政策をしっかりと行う。

調和のとれた労使関係を構築する。

(3) あらゆる手段を尽くして個人所得を増やす

発展の成果を人民が共に享受することを実現するには、所得分配制度の改革を深化させなければならない。個人所得の伸びが経済発展と同歩調となり、労働報酬の伸びと労働生産性の伸びが同歩調となるようにし、国民所得分配における個人所得のウエイトを引き上げ、第1次分配における労働報酬のウエイトを引き上げるよう努力する。

第1次分配・再分配はいずれも効率・公平を併せ考慮しなければならないが、再分配はより公平を重視しなければならない。

税制・社会保障・移転支出を主要な手段とする、健全な再分配調整メカニズムの整備を加速する。

企業・政府機関・事業単位の賃金制度の改革を深化させ、企業の賃金の集団交渉制度を推進し、労働所得を保護する。

所得分配秩序を規範化し、合法所得を保護し、低所得者の所得を増やし、高所得を調節し、違法所得を取り締まる。

(4) 都市・農村の社会保障体系の建設を統一的に企画推進する

持続可能性を重点的に保証し、都市・農村住民をカバーする社会保障体系を全面的に実現する。

年金保険の個人口座を段階的にしっかりとしたものにする。

社会保険基金の安全と価値保全・価値増加を確保する。

社会保障的性格をもつ住宅の建設・管理を強化する。

人口高齢化に積極的に対応する。

(5) 人民の健康水準を高める

医療保障・医療サービス・公共衛生・薬品供給・監督管理体制の総合改革を重点的に推進する。

大衆に、安全・有効・簡便・廉価な公共衛生・基本医療サービスを提供する。

突発的な公共衛生事件への応急対応と重大疾病の予防・抑制メカニズムを整備する。

公立病院の改革を深化させる。

食品・薬品の安全の監督管理体制のメカニズムを改革・整備する。

計画出産の基本国策を堅持する。

(6) 社会管理を強化・刷新する

投書・陳情制度を整備する。

重大・特大安全事故に歯止めをかける。

公安・司法・検察への党の指導を強化・改善する。

敵対勢力の分裂・浸透・転覆活動を高度に警戒し、断固として防止し、国家の安全を確保する。

6. 生態文明建設の推進に力を入れる

生態文明の建設は、人民の福祉に関わり、民族の未来に関わる長期の大計である。資源の制約が緊迫し、環境汚染が深刻であり、生態システムが退化している峻厳な情勢に対し、自然を尊重し、自然に順応し、自然を保護する生態文明理念を樹立し、生態文明建設を際立たせて位置づけなければならない。

資源節約と環境保護という基本国策を堅持し、節約優先・保護優先・自然の回復を主とする方針を堅持し、グリーン型・循環型・低炭素型の発展推進に力を入れ、資源節約・環境保護の空間構造・産業構造・生産方式・生活方式を形成し、生態環境の悪化傾向を根本から是正し、人民のために良好な生産生活環境を創造し、地球の生態安全のために貢献する。

(1) 国土空間の開発構造を最適化する

一寸の国土も大切にしなければならない。開発の程度を規制し、空間構造を調整する。

主体的機能区戦略の実施を加速し、各地域が主体的機能の位置づけに厳格に基づき発展するよう推進する。

海洋資源の開発能力を高め、海洋経済を発展させ、海洋生態環境を保護し、国家の海洋權益を断固として擁護し、海洋強国を建設する。

(2) 資源節約を全面的に促進する

資源節約は生態環境保護の根本策である。

エネルギー・水・土地の消耗程度を大幅に引き下げ、利用効率・収益を高める。

(3) 自然生態システムと環境保護を強化する

良好な生態環境は、人・社会が持続的に発展する根本的基礎である。

砂漠化・石漠化・水土流出の総合対策を推進する。

水利建設を加速し、都市・農村の洪水防止・旱魃対策・排水能力を強化する。

防災・減災システムの建設を強化する。

水・大気・土壌などの汚染対策を強化する。

(4) 生態文明制度の建設を強化する

生態環境保護は、制度に依拠しなければならない。

資源の消耗・環境の損害・生態面の効果を経済社会発展の評価システムに組み入れなければならない。

最も厳格な耕地保護制度、水資源管理制度、環境保護制度を整備する。

資源性製品価格と税費用改革を深化させ、市場需給と資源の稀少程度を繁栄し、生態価値と後世への世代間補償を体現する資源有償使用制度と生態補償制度を確立する。

省エネルギー・炭素排出権・汚染物質排出権・水資源権取引のテストを積極的に展開する。

II. 報告のポイント（経済関連部分）

1. 科学的発展観が指導思想に

マルクス・レーニン主義、毛沢東思想、鄧小平理論、「3つの代表」重要思想とともに、党が長期に堅持しなければならない指導思想とされた。

なお報告は「発展は絶対の道理」という鄧小平の言葉を踏襲してはいるが、その本質的要求は「科学的発展の堅持である」と、事実上の内容の置き換えを行っている。

科学的発展観のポイントは、①経済社会の発展を推進し、②人間本位を中核とし、③全面性・協調性・持続可能性を有し、③統一的に企画し各方面を併せ考慮するような発展である。

2. 「五位一体」

これまでの経済建設・政治建設・文化建設・社会建設に、新たに「生態文明建設」が追加された。すでに公害反対闘争の性格を帯びた大規模抗議行動が各地で発生しており、指導部としても社会の安定の観点から環境問題を見過ごせなくなったのであろう。

生態文明建設では、エネルギー・水・土地の消耗程度を大幅に引き下げ、利用効率・収益を高めることが強調されているほか、この部分で海洋強国の建設がうたわれている。

3. 歴代各指導部の業績

毛沢東を核心とする第1代中央指導集団は、中国の特色ある社会主義のための準備をしたと位置付けられた。「深刻な曲折を経験」とあるのは、大躍進・文化大革命のことである

う。これからすると、毛沢東思想は中国の特色ある社会主義ではないことになる。

鄧小平を核心とする第 2 代中央指導集団は、中国の特色ある社会主義を成功裏に創り出したとされた。

江沢民を核心とする第 3 世代中央集団は、中国の特色ある社会主義を守り抜き、成功裏に 21 世紀に推し進めたとされた。

新世紀の段階における党中央は、新たな歴史的起点において、中国の特色ある社会主義を成功裏に堅持・発展させたとされた。

ここで注目されるのは、胡錦濤指導部だけは名前を頭出ししていないということである。胡錦濤総書記は「領導核心」と位置付けられていないので、同じ表現を用いることができなかったのであろう。ただし、中国の特色ある社会主義への貢献は強調されている。これに比べ、江沢民指導部の業績については「3つの代表」への言及もなく、ただ中国の特色ある社会主義を受け継いだだけで、理論的貢献は何もなかったかのように扱われている。

中国の特色ある社会主義は、現代中国の発展進歩の根本方向とされる。したがって、毛沢東思想に回帰することは、「閉鎖的で硬直した旧い道を歩む」ことになるのである。

4. 共同富裕の明確化

中国の特色ある社会主義の道として、「人間の全面的発展を促進し、全人民の共同富裕を段階的に実現し、富強・民主的・文明的で調和のとれた社会主義現代国家を建設する」とされている。これにより、次期指導部の課題はもはや「先富政策」ではなく「共同富裕政策」であることが明確となった。

具体的には、

- ①所得分配格差を縮小し、中等所得層を引き続き拡大し、貧困扶助対象者を大幅に減少させる。
- ②個人所得の伸びが経済発展と同歩調となり、労働報酬の伸びと労働生産性の伸びが同歩調となるようにし、国民所得分配における個人所得のウエイトを引き上げ、第 1 次分配における労働報酬のウエイトを引き上げるよう努力する。
- ③税制・社会保障・移転支出を主要な手段として、健全な再分配調整メカニズムの整備を加速する。
- ④企業・政府機関・事業単位の給与制度の改革を深化させる。
- ⑤所得分配秩序を規範化し、合法所得を保護し、低所得者の所得を増やし、高所得を調節し、違法所得を取り締まる。

しかし、高所得者の所得調節や国有独占企業の給与改革には大きな抵抗が伴う、新指導部の顔ぶれからすると、高所得には手をつけず、低所得者の最低賃金・最低生活保障や給与所得の課税最低限の引上げでお茶を濁す可能性もある。

5. 小康社会の全面的「実現」

これまでは小康社会の全面的「建設」とされてきたが、今回は「建成」と表現が改められた。これにより 2020 年までに所得分配改革・基本公共サービスの均等化を進め、共同富裕を実現することが次期指導部に義務付けられたのである。

なお、GDP と都市・農村住民の 1 人平均所得を 2010 年比で倍増することが明記された。名目成長率が 7.2% あれば、10 年間で GDP は倍増する。今後、賃上げや資源・エネルギーの制約により一定程度のインフレは中国経済に組み込まれることになるものと思われるので、仮に実質成長が 5-6% 程度であっても、これは達成可能である。

6. 「公平」の強調

「権利の公平・機会の公平・ルール of 公平を主要な内容とする社会の公平の保障システムを段階的に確立しなければならない」とされた。また「経済の更に効率的で、更に公平で、更に持続可能な発展を推進する」ともされている。それだけ社会の不公平感が高まっているのであろう。

また所得再分配においても、「より公平を重視しなければならない」とされ、税制改革では「社会の公平に資する税制を形成する」としている。

7. 経済発展方式の転換

経済発展が、①消費需要、②現代サービス業・戦略的新興産業、③科学技術の進歩・労働者の素質の向上・管理のイノベーション、④資源節約・循環型経済、⑤都市・農村の発展の協調・相互作用に更に多く依存することであると、従来の「3つの転換」から、より内容を詳細にしている。

また、「中国の特色ある新タイプの工業化・情報化・都市化の道を歩むことを堅持し、情報化・工業化の深い融合、工業化・都市化の良性の相互作用を推進し、工業化・情報化・都市化・農業現代化の同歩調による発展を推進する」とする。これが成功するかどうか、今後の中成長を維持できるカギとなる。

8. 改革の深化

小康社会を全面的に実現するには、「時機を失さず重要分野の改革を深化させ、科学的発展を妨害する全ての思想観念と体制メカニズムの弊害を断固として除去しなければならない」とされている。報告では、「改革」が 86 回言及され、うち「全面改革」が 2 回、「深化改革」が 5 回言及されている。

現在改革は最後の岩盤にぶつかっており、既得権益層の激しい抵抗に遭い停滞している。次期指導部で改革が進まなければ、中国経済は「中等所得の罠」に陥ってしまうとの危機感が背後にあるのであろう。しかし、今回決まった政治局常務委員の顔ぶれは、むしろ既得権益の代表が多く、改革が大胆に進むかどうかは疑問である。

経済体制改革では、政府と市場の関係をうまく処理するとしている。具体的には、マク

ロ・コントロール体系を整備し、資源配分における市場の基礎的作用を更に大きく、更に広範囲に発揮させるとされている。

財政・税制改革では、中央・地方の財政力と権限が釣り合った健全な体制を整備するとされている。地方税と中央から地方への移転支出（特に均衡性移転支出）の充実が大きな課題となろう。また公共資源の譲渡収益を合理的に分配することも強調されている。

金融体制改革では、金利と為替レート市場化改革を着実に推進し、人民元の資本項目の兌換を段階的に実現するとされた。2020年に向けて金融の自由化・国際化は更に進展しよう。

ただ、問題なのは「国有経済の活力・コントロール力・影響力を不断に増強する」とされていることである。リーマン・ショックを契機した大型景気対策により国有企業に大量の資金が流れ、「国進民退」と呼ばれるような状況が出現し、国有企業を中心とした産業の再編も進められている。他方で、国有独占企業の弊害も指摘されている。しかし報告では、国有企業改革を更に力強く推し進める姿勢が見受けられない。

9. 地域の発展

地域では、西部大開発を優先することが明記された。また、都市・農村の発展の一体化、メガロポリス計画の推進、中小都市・町の産業発展・公共サービス・雇用吸収・人口集積機能強化もうたわれている。

さらに報告は、主体的機能区を重視しており、生態文明建設において「主体的機能区戦略の実施を加速し、各地域が主体的機能の位置付けに厳格に基づき発展するよう推進する」としているほか、財政面でも「主体的機能区の建設を推進する公共財政のメカニズムを確立する」としている。

主体的機能区の実施に際しては、人口・工場の大規模な移転が必要であり、このため中央から地方への財政移転支出措置が必要となるのであろう。

10. 4つの危険

党の抱える問題として、精神的怠慢の危険、能力不足の危険、大衆からの乖離の危険、消極腐敗の危険を指摘する。また、腐敗については、「人民が関心をもつ重大な政治問題であり、この問題がうまく解決できなければ、党を致命的に傷つけ、ひいては党も国家も亡びてしまうことになる」と強く警告している。

さらに、「いかなる者も党組織の上に君臨してはならない。断固として中央の権威を擁護し、思想・政治・行動面で党中央と高度の一致を保ち、党の理論と路線・方針・政策を断固貫徹し、中央の指示が徹底的に滞りなく実行されることを確保しなければならず、『上に政策あれば下に対策あり』や、指令があってもそれを実行せず、禁令があってもそれを無視することなどは決して許されない」と述べている。これは薄熙来事件の教訓でもあろう。

(11月16日記)